

9月28日(木)前期終業式



前期課程の体育館から後期課程に Zoom でつなげて実施した前期終業式。1～9年生が一緒にお話を聞き、半年間の頑張りを振り返りました。

前期課程からは2名、後期課程からは1名が児童生徒代表として「前期の反省と後期への抱負」をスピーチしてくれました。低学年もしっかりと耳を傾け、憧れをもってその姿を見つめていました。

校長先生のお話では、集英社の広告（朝日新聞）からすてきな言葉が伝えられました。
「新しいことが、必ず、おもしろい訳じゃない。ただ、おもしろいものは、必ず、どこか新しい。回り道をたくさんしよう。ギリギリで生まれる ひらめきを信じよう。昨日とはちがう 答えを見つけよう。」

『集英社』は 今日も考える。ワクワクで、ドキドキで、ゾクゾクで。キミの心を高鳴らせるために。もっと、もっと、おもしろく。」

「集英社」を「釧路義務教育学校」と置き換えて、後期も気持ちを新たに進んでいきましょう！

児童朝会～各委員会から～



終業式に引き続き、前期課程では、児童朝会を行いました。各児童委員会が前期の活動を振り返り、成果と課題、そして後期での活動計画についてプレゼンテーションしました。6年生が中心となった発表はとてもわかりやすく、これまでの活動内容の説明、全校児童への協力のお願いやクイズ等で全校児童を引きつけました。また、後期から中心となる5年生と連携した発表もあり、目的意識と相手意識を働かせた発表でした。立派でしたよ。今後も期待しています。

学習活動、行事、係活動や委員会活動、当番活動など、学級や学年で協力しながら、積極的に取り組んできました。頑張りの成果を家族と共有してくださいね。

